



ながら SDGs 通信 第 17 回 目標 14. 海の豊かさを 守ろう



長柄町タウンアドバイザー／千葉大学大学院国際学術研究院 田島翔太

海の問題を解決するための目標が、「目標 14. 海の豊かさを守ろう」です。具体的には、「海洋汚染の解決」と「海洋生物の保全」に分けられます。今日は、双方に関係するプラスチックごみの問題について考えてみます。

プラスチックは私たちの生活のあらゆる場面で使われています。そのプラスチックがきちんと捨てられずに海に流れ込むと、プラスチックごみとなって海の生き物を傷つけたり、海が汚れて観光や漁業に影響を与えたりします。プラスチックごみは、紫外線などの影響で、ごく微細なマイクロプラスチックとなります。マイクロプラスチックは、サイズが5mm以下の微細なプラスチックごみのことで、世界中の海に広がり、回収が難しくなっています。

2050 年までに、海のプラスチックごみの量は、魚の量を超えると予測されています。その発生源は中国、インドネシア、フィリピンなど、東アジア・東南アジアが占めており、対策が急がれます。

【出典】環境省（2018）「海洋プラスチック問題について」

World Economic Forum (2016) The New Plastics Economy: Rethinking the future of plastics